

# 見過ごさないで！危険な道路の共通点

茨城県立日立第一高等学校附属中学校

1年 佐藤 心音

## 研究動機

テレビで交通事故のニュースをよく見かける。私はこれまで交通事故の現場を見たことはない。自宅の周りでどのくらい交通事故が発生しているのか興味を持ち、調べてみることにした。

## 目的

身の回りのどのような場所で交通事故が発生しているのかを調べる。  
また、発生しやすい場所の共通点をまとめる。

## 調査結果

- 小学生の交通事故
- 中学生の交通事故
- 高校生の交通事故

## 視界不良グループ



## 大通り×脇道グループ



## 交差点グループ



事故の発生しやすい場所は、大きな交差点がある交差点グループ、大通りに脇道が合流してT字路になっている大通り×脇道グループ、草木などで死角が多い視界不良グループに分けることができた。  
大通り×脇道グループでは、大通りと脇道の停止線の間歩道があったが、脇道の停止線を越えて大通りの手前で停止する車が多かった。また、脇道が抜け道となり交通量も多かった。これらが事故の多い原因と考えた。

## 感想

交通事故の起こりやすい場所には共通点があることが分かった。まだ事故が起きていない場所でも、今回の共通点に当てはまる場所は事故が起こる可能性が高いので、普段の生活でも気を付けて通行したい。

## 研究方法

1. 調査の範囲は、自宅の近くにある水戸市立第四中学校の学区にした。
2. いばきデジタルマップを使い、平成24年度から令和6年度までに発生した小学生、中学生、高校生が関与する事故を検索し、地図上にシールを貼った。
3. 同じ場所で2件以上の交通事故が発生している場所実際にいき、どのような場所か調査した。
4. 事故が発生しやすい共通点をまとめた。

